

令和6年度 府立洛西高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>1 確かな学力を身に付けさせるとともに希望進路の実現を図る。</p>	<p>1 新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、学校の教育活動は多くのことが以前と同じように実施できるようになった。新学習指導要領及び一人一台端末も2年目を迎え、昨年度の状況を踏まえ、ICTの活用による授業改善や教育活動の活性化をさらに進めていくことができた。</p> <p>卒業生の進路状況については、国公立大学への進学者が前年度よりも大幅に増加し、希望進路の実現について大きな成果を収めることができた。学校の授業を中心に、最後まであきらめず粘り強く取り組むよう指導を進めてきた成果が表れた。</p> <p>令和6年度は特に総合的な探究の時間の充実や洛再 Links の一層の拡充を図り、生徒の自ら学び探究する姿勢を醸成し、将来の進路実現につなげていける取組としていきたい。また引き続き土曜活用や3年間を見通した系統的な進路・学習指導を行っていく。</p>	<p>1 一人ひとりの生徒を大切に、個性と能力、可能性を最大限に伸ばす教育活動を推進し、生徒の果敢な挑戦を支援することで、希望進路を実現させる。国公立大学への合格者数は学年生徒数の1割以上を目指す。また、総合的な探究の時間の充実や洛再 Links の一層の拡充を図り、生徒の自ら学び探究する姿勢を醸成し、将来の進路実現につなげる。</p> <p>(1)ICT 活用を一層推進し、一人一台端末による教育活動をさらに充実させる。また学習指導に当たっては、基礎基本の確実な習得、生徒が主体となって学ぶ授業への創意工夫、教員相互の授業交流を充実させる。</p> <p>(2)生徒の果敢な挑戦を支援し、希望進路の実現に向けての体制を強化する。高校3年生2月以降の指導を充実させノウハウの継承を目指す。</p> <p>(3)総合的な探究の時間の充実や洛再 Links の一層の拡充を実践し、地域や社会とつながり、自ら課題を発見し他者と協働しながら活動する力を身につけさせ、自らの在り方生き方を考えさせる活動の充実を図る。新たな組織を立ち上げ、より多くの教職員・生徒が関わる体制を構築する。</p> <p>(4)学習・部活動・学校行事等にも全力で取り組む学校文化をさらに醸成し、そのような活動をとおして豊かな人間性を育むとともに、主体的に行動する力を高める。</p> <p>(5)生徒指導が学校教育の土台であることを念頭に、温かさの中に厳しさのある生徒指導を推進する。基本的な生活習慣を身につけ、心身ともに健康な生徒の育成を目指す。</p> <p>(6)各分掌、教科の連携のもと、特別な支援が必要な生徒には合理的配慮をとおして、社会的自立に向けて個に応じた支援を進める。</p> <p>2 本校の魅力を発信し、府民、地域、保護者、中学生等からの信頼をさらに高める取組を推進し、本校を志願する中学生の一層の増加を目指す。ホームページやInstagramでの発信を強化するとともに、新聞やテレビなどの媒体にも本校の活動を取り上げてもらえるよう、広報活動、発信力の一層の強化に努める。また、中学校訪問の機会を増やし、タイムリーな情報を提供する。</p>
<p>2 部活動・自主活動の充実・活性化により、豊かな人間性を育み質の高い集団づくりを行う。</p>	<p>2 部活動、洛西フェスティバル等の学校行事は、ほぼコロナ禍前の取組に戻し、充実を図ることができた。特に2年目を迎えたイオンモール桂川で実施したオープン文化祭は、多くの府民、中学生、保護者に本校の活動を知っていただくよい機会となった。今後も総合的な探究の時間、洛再 Links、学校行事、部活動等を一層活性化させ、生徒に在り方生き方をしっかり考えさせ、豊かな人間性を育む取組を充実させていく。</p>	
<p>3 保護者、地域の方々から信頼され、期待される、魅力ある開かれた学校づくりを実現する。</p>	<p>3 今年度の入学者選抜では、前年より志願者が減少した。様々な要因が考えられるが、今後も地域・保護者・中学生等からの信頼をさらに高め、本校の教育活動を広く知ってもらえる取組をより充実させる必要がある。ホームページやInstagramでの発信を強化するとともに、新聞やテレビなどの媒体に本校の活動を取り上げてもらえるよう、広報活動、発信力の一層の強化に努める。</p>	

成果と課題

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> • 各種会議の連携を図り、学校運営を組織的に進める。 • 生徒・保護者・地域社会からの期待に応え、信頼される学校作りを一層推進し、本校の教育活動についての特色や魅力に関する情報発信を積極的に行う。 • 生徒の教育環境の充実に向け、適切な予算執行を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> • 部長会議を中心とし、各種会議にて課題に応じた組織的な検討を行う。 • 各種会議での検討内容を全教職員で共有し、共通理解のもと組織的な取り組みを進める。 • 学校内外で実施する本校の説明会や広報誌、ホームページなどの内容を充実させ、その他のメディアも活用しながら、本校の教育内容や特色、魅力等を積極的かつ効果的に広報する。また、Classiを活用し、日々の高校生活等について生徒や保護者へ適切な情報提供に努める。 • 洛再Links等の活動を組織的なものとし、地域とのつながりを大切にすることに努める。 • 危険箇所の早期発見・改修を行い、安心安全な学習環境を整えるとともに、施設設備の充実を図る。 • 生徒の個性と能力、可能性を最大限に伸ばす教育活動を実現するため、適切な予算執行を行うとともに、奨学金等の情報提供を行い就学支援等の充実を図る。 		

各分掌

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
教務部	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領の趣旨を踏まえ、確かな学力を身につけさせる授業を実践する。 中学生、保護者、地域から期待されるよう、学校の魅力を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「指導と評価の一体化」の趣旨を踏まえ、授業改善に取り組む。 自学自習の学習スタイルの確立と基礎基本の定着を大切に学習指導を行う。 探究活動を軸に、生徒自身が主体的に学ぼうとする姿勢を育てる。 学校生活を魅力あるものにすべく、生徒がやりがいや達成感をもてる行事計画を策定する。 他分掌との連携を図り、本校の魅力をHPや説明会を通して積極的に伝える。 生徒自身が本校生徒であることに誇りと自信を持てる教育活動を行う。 		
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 基本的生活習慣の確立と規範意識の向上に努め、安全意識(交通安全・防犯・防災)の高揚を図る。 落ち着いた学習環境を作り、個性と能力、可能性を最大限に伸ばす教育活動を行うとともに地域や社会とつながり、自己を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常における挨拶や正しい言葉づかい、時間の自己管理を指導する。 ルールを理解し服装や頭髪、化粧等に対して正しい判断ができるよう指導する。 自転車通学者を中心に、登下校時の安全指導を充実させるとともに、「4ない運動+1」を推進する。 スマホ・タブレット端末の使用のマナー、SNSやネットとの関わり方など情報機器の正しい使い方を指導する。 人権学習の内容を充実させ、一人一人の意識を高め人権が守れる集団となるように指導する。 部活動や学校行事、特に洛西フェスティバルの取組を通して、主体性や協調性を向上させられるよう指導する。 		

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 個に応じた指導等により、生徒一人一人の進路を実現する。 大学進学に関する具体的目標としては、国公立および難関私大への実合格者80人を目標としつつ、国公立大学、難関私大への合格者数、及び主に創造クラスからの難関中堅私大への合格数者を指標とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内の各組織と連携しながら、生徒が自ら将来像を描き、よりよい進路選択をしていくように促す。 探究クラス、創造クラスともに確かな学力を身につけて希望進路を実現するために、生徒への働きかけを講じるとともに、担任・教科担当への情報提供に努める。 生徒が主体的に学ぶ姿勢を身につけるために、高大連携等を活用しながら、様々な刺激を与える。 個人面談を通じて一人一人の進路実現への助力をする。 大学入試等の動向について、適切な情報収集と対応を図る。 		
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣を身に付け、礼儀やマナーに則った行動ができるように指導する。 部活動や自主活動に参加し、生徒が意欲的・主体的に取り組む姿勢を育てる。 授業を中心に、予習・復習の学習サイクルを実施し、家庭学習習慣を確立させる。 生徒一人一人を大切に、個に応じた指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 他分掌とも協力し、朝の登校指導を積極的に行う。時間厳守、挨拶の励行、身だしなみを整える等を当然として捉え、自ら考えて行動する力を育てる。 部活動や学校行事、洛再Links活動への参加を促し、「今しかできない体験」を通して豊かな人間性を育む。 Classiを有効活用し、学習状況の把握やフィードバック、模試の振り返り等を行い、学習意識を高める。 日頃から生徒とのコミュニケーションを大切にし、信頼関係を構築する。また、家庭と連携を図りながら、生徒の個性や能力を伸ばす教育を充実させる。 		

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> • 具体的な進路実現を意識した取組の中で、授業を中心とした学習環境を整え、学力の向上を図る。 • 自立した「大人」として、きちんとした基本的生活習慣を身につけ、礼儀や規律を自発的に守る態度を育てる。 • 学校生活を意欲的に送るなかで、互いを尊重し、高め合える質の高い集団づくりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> • 教科担当者と連携を図りつつ、確かな学力を育成するために授業に主体的に取り組ませる。 • 定期考査に向けての計画・実践・反省を通して、日々の学習の重要性に気づかせる。 • ICT推進担当と密に連携し、一人一台端末を活用した効果的な学習を積極的に進めるよう促す。 • 生徒指導部とも連携し、時間厳守・挨拶励行が習慣づくように継続的に指導する。 • 自転車乗車や身だしなみに関するルールの意義を理解したうえで遵守できる生徒を育てる。 • 部活動や学校行事に前向きに取り組み、学校リーダーとして中心となって行動するよう指導する。 • 生徒が何事にも積極的にチャレンジすることで学校生活において充実感を得られるよう、適切にサポートをする。 		
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> • 「想像力」「思いやり」「ほんの少しの勇氣」を1年次、2年次に続いて学年のキーワードとし、お互いに助け合い、認め合い、高め合える質の高い集団づくりを目指す。 • 「大人」への第一歩として、基本的生活習慣を確立し、きちんとルールやマナーを守って行動する態度を育てる。 • 生徒の学力向上を図り、希望進路を実現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 学習、部活動、学校行事等、様々な場面において、互いに切磋琢磨しながら粘り強くやり切るように指導する。 • 学校生活のあらゆる場面で、他者への配慮や思いやりを持って行動するように指導し、あたたかい雰囲気集団づくりを目指す。 • 部活動、文化祭、体育祭、洛再Links活動、委員会活動等に積極的に取り組ませることで生徒の自主性や豊かな人間性を育む。 • 生徒との日常的なコミュニケーションを大切にしながら、生徒指導部と連携し、身だしなみ、時間厳守、交通ルール遵守、あいさつの励行等、あらゆる場面で継続的に指導する。 • 日々の授業を中心に、学校に軸足を置いて学習に取り組み、それぞれの進路目標の実現を目指して最後まで努力する姿勢を大切にさせる。 • 個人面談や日々の声かけ等の機会を大切にしながら、生徒ひとりひとりに応じた進路目標が決定できるようにサポートする。 • 進路指導部との連携を密にし、Classi等を活用して生徒、保護者に適切な情報提供ができるよう努める。 		

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
保健	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人を大切に、学校経営計画に基づく様々な教育活動を支援する。 特別支援教育を充実させる。 学習環境を整備し、充実させる。 学校保健会議を活用する。 感染症防止への対策に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健管理や保健指導を計画的に実施する。 不登校等の未然防止や学校生活を送るうえで支援を必要とする生徒への早期対応を図る。学年部や関連分掌と連携し、兆候を早期に把握し、必要な手立てをとる。 特別支援教育の充実に向けて関係機関、各分掌との連携を図る。 安全点検や清掃用具等の点検整備を進める。 各種検査を活用し、教育活動に係る環境整備を進める。 学校医、学校歯科医、学校薬剤師との連携を大切に、学校運営に活かす。 手洗いや換気等、感染予防を徹底すると共に、事務部と連携し、消毒等の環境整備に努める。 		
図書	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営計画に基づく教育計画や教育指導への支援を充実させる。 自主的に読書に親しむ生徒を育て、読書を通じて豊かな人間性を育成する。 地域・保護者・中学生等に積極的に広報する。また、外部の公的機関等との連携を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 探究型学習、調べ学習、図書館利用学習への直接的支援や援助を行う。 学校行事や人権学習等の取り組みに積極的に協力し、特別展示などを通して啓発活動を行う。 教育的効果を考慮した団体鑑賞を実施する。 学校行事のビデオ撮影を行い、学級活動等に提供する。 図書委員会の活動を活性化させ、自主的な取り組みを増やし、視覚的にも楽しい図書館にする。 図書館ニュース、新着図書案内、洛西選書等を発行する。特設コーナーや館内イベントを充実させ、読書の啓発に努める。 図書館管理システムによる蔵書管理を効果的に行う。 ホームページやSNS等を通じて広報、情報発信を行う。 公共図書館との連携を深める。 		

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
総務企画 ICT推進	<ul style="list-style-type: none"> 生徒募集に関して、志願者減の状況を踏まえ、本校の教育活動を、さまざまな機会を活用し、中学生及びその保護者、地域にわかりやすく伝える発信力を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校内外で実施する本校の説明会や、広報紙、ホームページ等の内容を充実させ、本校の教育内容や特色、魅力等を効果的に発信する。 インスタグラムを週に1度以上発信する。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 在校生及びその保護者に適切に情報提供をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページを活用し、必要な情報を的確に、早めに発信する。 		
	<ul style="list-style-type: none"> PTAとの関係を深め、信頼される学校作りを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> PTAとの連携を深め、PTA総会をはじめとする各種委員会の活動や諸行事、PTA広報誌「まほろば」の発行などが有意義なものとなるようにバックアップする。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 府立高校特色化事業等の取組である総合的な探究の時間や、洛再Links活動等を通して、生徒の社会的科学的視点、国際的な視点等を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年部や教科と連携して「総合的な探究の時間」や「グローバルネットワーク京都」の取組を計画的に推進し、年度末の発表に向けて準備を進める。 洛再Links活動を全校的な取組として位置づけ、積極的に推進し、活動を発信する。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用して日々の校務を効率的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ClassiやTeamsなどの授業支援システムの有効な活用を進める。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用して授業・学習活動を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導を効果的に進めるために、新たな学習アプリの導入を検討する。 ICTを活用した効果的な実践について共有する。 		
事務	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の個性と能力、可能性を伸ばす教育活動を実現するため、適切な予算執行を行うとともに、奨学金等の情報提供を行い、修学支援等の充実を図る。 保護者、地域の方々から信頼されるように外部と接触する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本校の教育活動に何が必要かを教職員と連携して検討し、有効で適切な予算の執行を行い、必要な物品等は速やかに購入する。 危険箇所の早期発見・改修を行い、安心安全な教育環境を整備するとともに、施設設備の充実を図る。 多種多様な奨学金制度について本校のホームページを活用し、情報提供を行うとともに、円滑な事務処理を行う。 電話や窓口業務の応対で、保護者や地域の方々から信頼されるように言葉遣い等に留意する。 		

学校関係者評価委員会からの意見	
-----------------	--

令和7年度に向けた改善の方向性	
-----------------	--